

船舶事故等調査報告書

平成27年5月28日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2015仙第9号
事故等種類	定置網損傷
発生日時	平成27年1月19日 22時00分ごろ
発生場所	宮城県石巻市網地島南方沖 濤波岐埼灯台から真方位221° 1.2海里（M）付近 （概位 北緯38° 13.90′ 東経141° 29.00′）
事故等調査の経過	平成27年1月23日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	貨物船 泉栄丸、499トン
船舶番号、船舶所有者等	141292、岡本汽船株式会社
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）
死傷者等	なし
損傷	本船 なし 定置網 ロープ及び網の一部切断
事故等の経過	本船は、船長ほか5人が乗り組み、棒鋼約1,257tを積載し、平成27年1月19日15時20分ごろ岩手県釜石市釜石港を出港し、福島県いわき市小名浜港へ向かった。 本船は、単独で船橋当直を行っていた船長が、天候が悪化してきたので陸岸寄りを航行しようと思い、石巻市金華山沖を通過した後、針路を真方位約270°に変針し、網地島南方沖を約11ノットの対地速力で西進中、22時00分ごろ定置網に進入してプロペラにロープが絡まり、同網を損傷した。 本船は、来援したタグボートにえい航されて定置網から離脱し、潜水夫によって漁網が除去された後、石巻市石巻港にえい航されて、プロペラに絡まったロープが除去された。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北西、風力 3、視界 良好 海象：波高 約2.0m、潮汐 低潮時
その他の事項	船長は、本事故当時、6M及び12Mレンジにそれぞれ設定した2台のレーダーを使用して見張りを行っていたが、定置網の標識灯等に気付かなかった。 船長は、網地島周辺に定置網が設置されていることを知っていたが、沿岸から1M程度離れて航行すれば問題ないと思っていた。 本船は、漁具定置箇所一覧図を備えていなかった。
分析	
乗組員等の関与	あり

<p>船体・機関等の関与          気象・海象等の関与          判明した事項の解析</p>	<p>なし          なし          本船は、網地島南方沖を西進中、船長が、天候が悪化してきたので陸岸寄りを航行する針路とする際、網地島沿岸約1M沖には定置網はないものと思ひ込み、網地島南方沖の定置網に向かう針路で航行したことから、定置網に進入し、同網が損傷したものと考えられる。</p>
<p><b>原因</b></p>	<p>本事故は、夜間、網地島南方沖を西進中、船長が、陸岸寄りを航行する針路とする際、網地島沿岸約1M沖には定置網はないものと思ひ込み、網地島南方沖の定置網に向かう針路で航行したため、定置網に進入したことにより発生したものと考えられる。</p>
<p><b>参考</b></p>	<p>本船の船舶所有者は、本事故後、所有船舶に漁具定置箇所一覧図を支給するとともに、定置網等の情報を陸上及び各船舶との間で共有することとした。</p>